

# サイトレポート 熊本・合志事業所

毎年1つの事業所をクローズアップしてEHSの取り組みを報告します。本年度は、昨年度の山梨事業所に続き、熊本・合志事業所を紹介します。

熊本は豊かな緑と地下水、熊本城、水前寺公園、明治の文豪の足跡など、自然・歴史・文化の地として知られています。合志事業所は、半導体関連企業が集まる熊本セミコンテクノパーク内に、約15万5,000平方メートルの敷地を有する東京エレクトロングループの新生産拠点です。熊本事業所は、当社グループの、九州における中心的拠点として16年の歴史を持つ事業所です。



熊本事業所



合志事業所

両事業所は、当社グループがトップシェアを持つ塗布現像装置（コータ/デベロッパ）の、合志は生産を、熊本は装置の性能評価と営業/サービスを行う拠点となっています。

## 2002年度のEHS活動

### ● 熊本・合志事業所のEHS活動概要

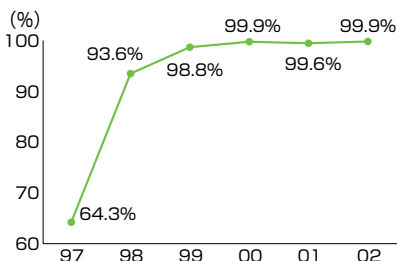
熊本・合志事業所では1998年3月にISO14001の認証を取得し、主に省エネルギー、省資源、ゼロエミッション化を中心に環境負荷削減に取り組んでいます。

- ・合志事業所：2001年度以降、電力の使用量が増加傾向にあるため、第一種エネルギー管理指定工場の義務として、この削減が求められています。
- ・熊本事業所：装置評価を行っているため、半導体プロセスに用いられる薬液類の廃液が多く、産業廃棄物のゼロエミッション化を進めています。

### ● 産業廃棄物のゼロエミッション化

2001年度末で99.58%であったリサイクル率の最後の課題は、塩化ビニール類の処理でした。これまで、埋め立て処理していましたが、2002年度にリサイクルを開始しました。これにより、2003年度中には、熊本・合志ともにリサイクル率100%達成の予定です。

### ■ 熊本・合志事業所 産業廃棄物リサイクル率の推移



### ● リスクアセスメントに基づく安全衛生活動

EHSマネジメントシステム（21-22ページ参照）に基づき、開発、製造などすべての工程で作業のリスク\*を約600件抽出し、そのリスクアセスメントを行いました。その分析結果をもとに、リスクが発生する作業における様々な対策を実施しました。例えば、合志事業所での塗布現像装置



高所作業台およびバルンサー

の組み立て作業について、装置上部にのぼり、フィルターユニットを積載する作業に重要なリスクがあることがわかり、この作業の対策として高所作業台とバルンサーの設備導入を行いました。（左下の写真参照）

\*リスク:ここでは、想定される危険な事象発生の可能性と結果の組み合わせを指します。

### ● 今後の課題

ISO14001認証取得以降、環境負荷低減を本格化させ、2002年度において、相応の結果が出せたものと自負しています。

今後は、当社グループの製品使用時の環境負荷の低減に向けてさらに注力していきます。また、労働安全衛生についても、マネジメントシステムのいっそうの整備を進め、労働災害ゼロを目指します。

### ■ 熊本・合志事業所の物質フロー（2002年度）

